

発行 福岡県社会福祉協議会  
 子育て支援事業推進室  
 〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階  
 TEL 092-584-3377 FAX 092-584-3369  
 E-mail kosodate@fuku-shakyo.jp



旧方城町社会福祉協議会 子育てサロン「日本語教室」の修了式

## 子育ては世界共通

「外国人の奥さんは大変です。日本の文化、習慣、料理、言葉。すぐできるようになりません。ストレスがたまります。悲しくてくやしいことやわからないことがいっぱいあります。だから日本語クラスは私の心の薬になりました。福智町になってからも私の小さい世界を守って欲しいです。」

「お友達もたくさんでき、日本にいる同じ悩みのある人とコミュニケーションがたくさんできて、とてもいい経験をしたと思っています。日本語クラスは続けてほしいです。」

方城町社会福祉協議会（現 福智町社会福祉協議会）で行われた、子育てサロン「日本語教室」の修了式で読み上げられた参加者のメッセージです。この子育てサロンは、福岡で暮らしている外国人のお母さんたちが集い、日本語を学習しながら、日本の文化や習慣について学んだり、子育てや生活について考え合ったりする子育てサロンとなっています。

修了式の間、参加した子ども達は隣の和室やセンター内の廊下を所狭しと走り回ったり、遊んだり、みな兄弟のように楽しく時を過ごしていました。

この子育てサロン「日本語教室」は、合併し福智町となった後も継続していくとのことです。（子育て支援事業推進室 はまさき）

### もくじ

- 福智町社会福祉協議会  
子育てサロン「日本語教室」……………1～2
- 福岡県 在日外国人の  
子育ての悩み実態調査へ……………3
- 子育て支援にかたろう研修会報告 ……4～5
- 子育てネットワーク研究会実行委員会 ……6

# 福智町子育てサロン「日本語教室」



参加者から花束を受け取る兼行先生

福智町社会福祉協議会では、町の保健師や関係者と連携して、保育園児の虐待防止という観点から子育てサロン「日本語教室」を平成14年に開設しました。

外国から嫁いできた方にとっては、日本語でのコミュニケーションが難しいことが多く、買い物や病院などに出かけた時に困ったり、保育園からのお便りの内容がわからなかったりと、言葉の壁が大きくなかなか立ちがたつてきます。その大きな壁に対する苛だちやストレスが、愛おしい存在であるはずの子どもへ向けられることもあるのです。

「日本人に嫁ぐことはあなたが

自分で選択したのだから。」と、日本語教室の兼行先生は生徒であるお母さん達を叱咤激励しながら、この4年間お母さんや子ども達と一緒に過ごしてきました。日本語を教えるだけにとどまらず、月2回のサロンで足りない時には、自宅を訪問していろんなことを語り合ったり生活面での相談事を受けたりと、知らないことの多い日本で暮らすお母さん達の心のより所となっております。兼行先生を始め、このサロンに関わるスタッフの皆さんは、参加者の家族や地域との関わりにまで入り込み、参加者の人生をともに考え、親子に優しく、時には厳しく寄り添っています。中には、このサロンで自分自身の人生を見つめ直し、異国の地となるこの福岡で、一人で子どもたちを育てていくことを選択した方もいます。

兼行先生は今後もこの日本語教室の講師としてだけでなく、地域の中で、一人の地域の人間として、今以上に深くお母さん達と関わっていきたくと話してくれました。親子の絆と同じくらいの重さの、先生やスタッフとサロン参加者との絆を垣間見ました。

サロンの運営には、日本の文化



修了記念コンサートを楽しむ参加者

問い合わせは…

福智町社会福祉協議会（方城事業所）  
TEL 0947-22-3778

や方城町の地域性を知ってもらおうと地域から多くの方がボランティアとして参加しています。サロンの参加者も自分たちのことを理解してもらおうと、福祉祭りやバザーを出店するなど、地域の行事に積極的に参加しています。

子育てのしにくい社会になったとよく言われます。生まれた時から日本で暮らす日本人のお母さんでさえも、子育てに一人で悩み苦しんでいる方が多い現状があります。日本で暮らす外国から来たお母さんたちの子育てに悩みが多いのは当然ですが、それらを相談、解決できる環境づくりが必要となっています。



なにしておそぶ？



休憩中



なあに？



ねむたいよ～

こども

## 在日外国人の子育ての悩み実態調査へ

「麻生渡知事は八日の県議会一般質問で、外国人の子育ての悩みなどを把握するため、七月にも実態調査をする方針を明らかにした。滋賀県で幼稚園児二人が別の園児に刺殺された事件では、中国籍の母親が日本語が不自由で、子育ての悩みを抱えていたことが背景として指摘されており、調査結果を外国人の心のケアに役立てる。」  
 (西日本新聞3月9日朝刊より)

方城町(現 福智町)の子育てサロン「日本語教室」を視察した福岡県議会 森下博司議員(厚生環境常任委員長)が、定例2月県議会一般質問で、このサロンを例に挙げ質問し、麻生知事が答えたものです。

森下議員が、質問の中で参加者が書いたものを綴ったメッセージ集の一部を読みあげると議会内では異例の拍手が起こったそうです。地域のニーズに合わせた地道な活動が県議会に感動を与え、行政を動かしたということでしょう。

福岡県国際交流課では、「調査結果を踏まえ、市町村などとも協力して外国の人たちが住みやすいまちづくりに取り組みたい。」「このような日本語教室の講師派遣に

ついても協力していきたい。」と話しています。

多少の文化や習慣の違いはあっても、子どもに対する愛情や思いでは、外国人も日本人も関係ありません。時に自信を失うようなことがあったとしても、どの親も我が子を思う気持ちは誰にも負けないうと自負しているはずですよ。

また、方城町の子育てサロン修了式で遊びまわっていた子どもたちの笑顔をサロンの中だけでなく、地域の中で守っていかなくてはなりません。

子育てを応援する地域の住民や行政がそれぞれの立場から、何らかのアクションを起こすことで住みよいまちとなるのです。



修了式の間、こどもたちは隣の部屋で...

## お知らせ

子育てに関するイベントや講演会などのイベント情報をお知らせください。「ふくすく」やホームページにより、開催予定のイベント等を事前にお知らせしていきます。市町村での取り組みでも、各種団体による取り組みでも問いません。

イベント名・日時・場所・主催団体名等下記までご連絡ください!!

連絡先 〒816-0804

春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室

TEL 092-584-3377

FAX 092-584-3369

E-mail kosodate@fuku-shakyo.jp



おやつに夢中



あひるちゃんと一緒に



むむむ



はい!

# 平成17年度 子育て支援者研修会「子育て支援にかたろう」

平成17年度子育て支援者研修会  
 く子育て支援にかたろう」を糸田町会場、大牟田市会場、筑紫野市会場の県内3ヶ所で行いました。

民生委員児童委員の方や子育てグループで活動している方、子育て中のお母さん方にご参加いただき、会場からのご意見等も多かったです。それぞれ地域における子育て支援活動について、考え学び合う有意義な時間となりました。

講師高山静子さんは、子育て中に保育士の資格をとり、保育士の経験を経て、様々な角度から子育て支援活動に取り組んでいます。

「地域ぐるみで子育てをすすめるひだまりの会」をつくり、福岡市から委託を受け、「城南区子どもプラザ」の運営をしています。その他にもNPO「ちびもじメディア」の常務理事や大学の講師としてもご活躍中です。



城南区子どもプラザのようす

## 今必要な

## 子育て支援とは

子育ての現状と地域に求められる支援について講演をしていただきました。

かつて子どもたちの遊び場であり、お年寄りや日向ぼっこをする場であった家の前は、車のための場所となり、安心して子どもを外で遊ばせることができない環境になってしまいました。そして家の中はというと、0歳児向けのテレビ番組や知育ビデオが誕生したことで、乳幼児のテレビ視聴時間が長くなり、生身の人間よりもテレビの登場人物が好きという子ども、共感性の乏しくなっていく子どもを作り上げてしまいかねない現状にあります。

このように、一昔前とは違ってきている子育ての現状を知った上で、子育て支援に関わっていただきたいと話していただきました。

そして、地域に求められている支援として、次のようなメッセージをいただきました。「親子が会える場、集える場を作り上げてほしい。」「主役は子育てしている親子であること、支援者は親と子どもの代弁者となることを忘れず、親自身が現状と支援を考える場作りをしてほしい。」「支援者だけの自己満足に終わらず、当事者である『親と子』が元気になる支援をしてほしい。」

また、この現状を変えられるのは、国や県などによる施策よりも、地域の人の力だと力強く伝えていただきました。



講師 高山静子さん

## 野菜人形劇グループ ベジタブルによる公演

大牟田市会場では、「ベジタブル」のみなさんに人形劇の公演をしていただきました。

人形劇公演の前に、簡単にできる手遊びの紹介や食べ物のお話で、参加者の頭と体をほぐしていただきました。

目や口をつけ、手作りの洋服を着た本物の野菜の人形たち。それぞれの野菜の個性をうまく生かした個性ある人形たちの劇「朝ごはんをしっかりと食べよう」を公演していただきました。代表の柴田さんの軽快でパワフルな語り口に、参加者の顔から笑みがこぼれ、楽しく食育を学ぶ時間となりました。

## 大牟田市会場



ベジタブルのみなさん



手遊びをする参加者



研修会場の様子



託児室の様子

# 子育て支援にかたろう～実践報告～

## 子育て支援グループ「トライアングル」

### 田川地区子育てネットワーク「たんたん」

子育て中のお母さん達を中心となり、子育て交流事業や子育て通信の発行などの子育て支援活動を平成9年から行っています。昨年度、休園中の幼稚園を大改造。今後は、子育て交流サロン「おやっこ」を開いていく予定です。子育て当事者の目線を常に忘れず、田川地区の「子育て・子育て・親育ち」の環境を豊かにすることを目指して様々な活動に取り組んでいます。

月2回の活動では、当番制で活動内容を企画、実施しています。また、会員以外のお母さんたちを対象に、桂川町社会福祉協議会と共催で「手作りいろいろ教室」を開催しています。たくさんの子育て中の親子同士のつながりが実現されているようです。

### 子育て支援Wa-Wa

平成15年度に開催された託児ボランティア養成講座（桂川町社会福祉協議会主催）の修了生が中心となり、託児ボランティアを行っています。団体活動時の託児のほか、個人の託児も行っています。メンバーの中には、障害児対象の「ひまわり教室」へのボランティア参加もしており、経験豊富な会員が温かく子どもたちやお母さんたちを見守ってくれています。

### 久留米市子ども育成課

久留米市の子育て支援事業は、市民活動の支援や市民との協働による取り組みが多く見られます。子育て支援団体等に対する「子育て支援基金助成事業」や主任児童委員らにより校区単位で設置されている「すくすく子育て委員会」への支援。つどいの広場「子育て交流プラザくるるん」やファミリーサポートセンターの事務局は民間のボランティア団体に委託されています。



子育て支援Wa-Wa 田中さん



会場からも・・・

### 子育てしやすいまちにしたい会 おおむた・ママねっと

子育てサークルに参加したことをきっかけに、森千春さんは、大牟田市内にも常設の子育て中の親子が交流できる施設がほしい、とその必要性を考えるようになったそうです。「ママねっと」の活動は、まずは児童館や子育て支援センターの見学から始まり、行政への様々なアプローチなど、子育て中の母親と行政とのパイプ役となり、子育て支援に関わっています。

### 須恵町共生のまちづくり子育て支援部会

須恵町ボランティアセンターには、子育て中の親子が集い、交流する遊びの広場「つくしんぼ」があります。そこで、ボランティア活動をしているのが、共生のまちづくりの部会のひとつ、子育て支援部会のみなさんです。手作りのおもちゃづくりや見守りの活動、イベントの開催等を行っています。

おおむた・ママねっと  
森さん



### 太宰府ファミリーネットはらっぱ

はらっぱで誰が何をしてもいい空間を作り、気軽に寄り合える場作りを作りたいと、太宰府で子育て中のお母さんたちが活動を始めています。月2回開催している子育てサロン「はらっぱるーむ」には多くの参加者が訪れます。市内の子育て支援機関・団体やサークルとのつながり、その情報を収集して毎月子育てカレンダーを発行しています。「できる人ができるだけのことをできるだけ」と、「はらっぱ」の活動は、全てがお母さんたちの手作りで行われています。

### 須恵町甲植木区ボランティアの会

平成13年のボランティア養成講座（須恵町社会福祉協議会 主催）の受講生を中心に「甲植木区ボランティアの会」を発足させました。公民館を開放し、遊びの場、地域の方々と関わる場を提供しています。子育てサロン「チャットルーム」を通して、地域での新しい子育てへの関わりを実現しようとしています。須恵町では、このような活動が5つの公民館で実施されています。



須恵町甲植木区  
ボランティアの会  
実崎さん

# 「子育てネットワークinふくおか」が開催されます！

平成18年度子育てネットワークinふくおか  
 日程 平成18年10月28日(土)・29日(日)  
 会場 福岡県立社会教育総合センター  
 〒811-2402  
 糟屋郡篠栗町大字金出3350-2  
 電話 092-947-3511 (代表)  
 FAX 092-947-8029

「子育てネットワークinふくおか」の第1回実行委員会が行われました。主催団体のひとつである「子育てネットワーク研究会」は、福岡の子育てネットワークの活動実践者が中心となって発足した研究会です。この「子育てネットワーク研究会」が、福岡県立社会教育総合センター等と連携し、福岡県内各地の子育てネットワーク活動の実践者が集い交流する「子育てネットワークinふくおか」を開催します。



昨年度の様子(分科会)

平成18年度は、10月28・29日に篠栗町の福岡県立社会教育総合センターで開催することが決まりました。実行委員会で、プログラムの詳細についてこれから協議を進めていきます。実行委員会には、社会教育総合センターや市町村の行政職員、地域で活動する各地のネットワーク代表者が集まりました。

今回、県社協子育て支援事業推進室からもこの実行委員会に参加することとなりました。

## お知らせ 子育てサークル リーダー研修会

児童健全育成推進財団が募集する、地域子育て支援関連事業「子育てサークルリーダー研修会」(主催 厚生労働省・子ども未来財団)の共催団体のひとつに福岡県社会福祉協議会が決定しました。福岡県には、子育てサークルや子育て支援団体が多く、そのネットワークは他県の手本となるほどのものです。

しかし、その後継者やスタッフの確保に悩む団体が多いようです。素晴らしい福岡の子育て支援活動をさらに充実、継続していくため、子育て支援活動の中心的役割を果たすリーダーの担い手となりうる人材を養成し、資質の向上を図ることを目的に研修会を開催します。

詳細については、決まり次第お知らせします。



子どもの寝顔を見ている時ほど、幸せな瞬間はありません。たとえ、目が半開きでも、イビキをかいていたりしても、我が子の寝顔というのは、天使のように見えてしまうものです。寝言で、「お母さん」なんて言われようものなら、思わず抱きしめたくなくなってしまいます。

昼間は、いたずらをして走り回り、目を離せない子どもたち。お母さんたちは、買い物に行っても商品をつくり見て回ることもできず、家では子どもの相手をしながらの家事に追われ、バタバタと一日が終わります。

夜、子どもがぐっすり眠っている時には、その見守らなくてはならない緊張から解放され、本当に平和な心になれます。

ある先輩ママさんが「子育ての期間は短い。」と言っていました。生まれてきたばかりの赤ちゃんは首も据わっていないくて、新米のママやパパにとっては、抱っこすることさえも一苦労です。早く首が据わったらいのに・・・と願い、今度は早くお話できるようになりたいのに・・・。今度は、トイレが自分でいけるようになってほしいのに・・・。と、子どもの成長に対する親の思いや願いは、どこまでもどこまでも続いていくものです。短い子育ての期間、子どもの成長を楽しみながら、大人もしっかり成長していきたいものです。

### 大募集!

「ふくすく」に関する意見・要望、また子育てサロンへの取材依頼、子育てに関する様々なエピソードなどを募集します。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)